

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「1時間の道徳科の授業を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第2学年

道徳科

教材名【内容項目】

森のゆうびん屋さん『わたしたちの道徳』【C 勤労、公共の精神】

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

なぜ人は集団や社会の中で働くのだろう。

（C 主として社会や集団との関わりに関すること）

② 授業を貫く問い（1時間の道徳科の授業を通して考え深めていく「問い」）

働くことのよさって何だろう？

③ 個別の問い（1時間の道徳科の授業における発問構成）

- 学校には、どんな当番や係などがありますか？そして、それらをどんな気持ちをもってしていますか？
- やぎじいさんのところに行くくまさんは、どんな思いで小包を届けているのでしょうか？
- ◎こりすからのお手紙を読んだくまさんは、どんなことを考えているのでしょうか？
- みんなのために働いてよかったと感じたことはありますか？その時はどんな気持ちでしたか？

(1) 日常の当番活動「掃除」「給食」

仕事をするをとおして自らの成長を実感するとともに、みんなのために働くことの大切さを実感する。

(2) 学級活動「係の仕事を振り返ろう」

係の仕事を振り返り、他者からの評価をとおして、みんなのために働くことのうれしさ、やりがいなどについて考える。

(3) 道徳科「森のゆうびん屋さん」

(4) 学校行事「クリーンタイム」

地域のために町をきれいにし、すがすがしさや、みんなの役に立つことのうれしさを実感する。

各教科等との
関連を図る